

# 教育だより (教育委員会)

## 【海士中】

### エコスクール プロジェクト

総合的な学習の時間で環境問題を取り上げ、「海士中学校から世界を救いたい」という思いを持って、環境学習に取り組んできました。

そして、6月から「海」「食」「水」「ゴミ」の4つのテーマで取り組んできたことを、11月21日に行われた産業文化祭で発表しました。当日はたくさんの方に子ども達が伝えたい思いを聞いてもらうことができ、質問や意見、感想をたくさんいただきました。

また町長からも「皆さんの取り組みをぜひ、海士町全体に広めてください。」と力強い言葉をいただきました。

今回の子ども達の発表を聞いた方が、環境問題について考え、行動を起こし、周りの人にその輪を広げてくれることを期待しています。

## 第3回出前授業

12月4日に、3年生を対象に、最後の出前授業を行いました。3回連続となる八丸由紀子さんを講師に「夢をあきらめない理由」をテーマに授業を行いました。

午前は、一人一人の夢を聞き、肯定的なフィードバックを行う相互支援のワークを、AMAWゴンに参加した方に協力してもらい進めました。

午後は、島前高「観光甲子園」のプレゼンと一人一人の思いを全校生徒で聞きました。その後、午前中のワークを受けて書き直した作文発表を6名の生徒が行いました。



## 【海士小】

### がんばった 学芸会

11月29日に学芸会を行いました。今年のテーマは「楽しく 仲良く 思い出に残る学芸会」。短期間ではありましたが、みんなで協力し合って舞台背景や小道具作りをしたり、練習をしたりするなど、本番にむけて一生懸命な姿を見ることができました。当日は、たくさんのお客さんの前で一杯の演技をしました。保護者や地域のみなさんから温かい拍手をいただき、子ども達も大変喜んでいました。

今回も恒例のクラブ発表を行いました。産業文化祭に続き、よい発表をすることができました。地域講師のみなさんに丁寧にご指導いただいたおかげであると思っています。今後、児童数減少により、益々活動が難しくなることが予想されますが、地域の伝統文化をしつかりと受け継いでいこうと考えています。

また、けいしょう保育園の園児の皆さんにも出演いただきました。ありがとうございました。



## 【福井小】

### あとど フェスティバル

平成18年度より始まったこのフェスティバルも今回で第4回となりました。「ふるさと」の自然・文化・人との触れ合いを通して学んだことを、自信をもって表情豊かに表現する「子どもの育成をねらい、表現力や伝達力の向上に向けて年々工夫を加えています。」



今回は1、2年生が、国語科の学習を基にした発表に挑戦しました。ハーモニーク級は指導者の曾田先生と共に和太鼓を披露しました。3、4、5年生は海士町の「ひと、もの、こと」を題材にふるさとのおよさを発表しました。6年生は、修学旅行で訪ねた広島で学んだ平和への強い思いを伝えました。

制作の過程で友達や自分のよさを再発見した子どもたち。地域の皆様との触れ合いに支えられ、大きく成長しました。

## ふるさと検定

配布

『海士町ふるさと検定試験』の問題を解答付で各地区に配布しました。

「身近にあるのに知らなかったものが多かった」「海士はせっかく色々な文化があるので、この機会に少し勉強してみようかと思いました」「来年もやってください」等の声が早くも届いています。難しい問題もあると思いますが、ふるさとのことを少しでも語れるようになっていただけたらうれしいです。

この問題集は、観光客にも海士町のことを知っていただけるように、公共の場所にも置いてありますので、時間を見つけてちよつと開いてみてください。

なお、まだ残部がございますので、欲しい方や、出郷者の方などにも送ってあげたいという希望の方は、左記までご連絡ください。

【問合せ】2・12221

教育委員会 担当 宮崎

## 第35回島前少年防犯剣道大会結果

日時：平成21年12月5日

場所：黒木小学校体育館

## 【団体の部】

優勝 海士剣友会 B チーム

(久保鈴夏・波多大成・中川美希)

## 【個人の部】

2年生以下 優勝 若本航一郎(諏訪剣道クラブ)

準優勝 万代 丈(諏訪剣道クラブ)

3年生 優勝 久保永吉(海士剣友会)

4年生 3位 万代 涼(諏訪剣道クラブ)

5年生 優勝 中川美希(海士剣友会)

3位 久保鈴夏(海士剣友会)

## 第51回全隠岐剣道選手権大会結果

日時：平成21年9月13日(日)

場所：隠岐の島町総合体育館

## 【団体戦】

3位 海士剣友会 A

(真野海成・飯古光輝・宇野由華)

3位 海士剣友会 B

(久保鈴夏・波多大成・中川美希)

## 【個人戦】

小学生低学年 男女混合の部

優勝 若本航一郎(諏訪剣道クラブ)

小学生中学年 男子の部

2位 久保永吉(海士剣友会)

小学生高学年 女子の部

2位 中川美希(海士剣友会)

3位 久保鈴夏(海士剣友会)

## 【気合賞】

濱板日陽里(諏訪剣道クラブ)



海士剣友会



諏訪剣道クラブ

## 重要

## センター改修!

隠岐開発総合センターは築後30年を経過し老朽化が激しく、設備関係が故障したり雨漏りしたりするため、改修工事を行うこととなりました。

主な内容は、地震に対応できるように補強工事を行い、全館の設備等を補修するとともにバリアフリー化します。また2階の図書室を1階に移すなど(増築)、部屋の配置換えも行います。その他、廊下や壁を木質化にし、温もりのある建物に改修します。現在これらの詳細設計を行っており、3月から10月頃まで工事の予定です。

つきましては、工事期間中センター利用に関し皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。詳細については、次号広報等でお知らせいたします。

【問合せ】2・12221

地域共育課

## 小さな島の エコスクール

全国大会出場！



11月14日、環境省主催「ストップ温暖化『一村一品』大作戦」の県選定会が行われ、海士町教育委員会の「小さな島のエコスクール」中学生が島を変える」が県グランプリを受賞しました。海士中のエコ改修に中学生が関わったことや、あま環境ネットワークの発足など地域への拡がりが評価されました。本事業は、全国に温暖化防止のための活動を広げていくことを目的としています。

くにびきメッセでの発表

2月14日、東京で行われる全国大会で島根県代表として発表します。

### 海士町体育指導委員会

表彰されました

海士町体育指導委員会は、海士町の社会スポーツ振興と、住民の健康、体力向上のために各種スポーツイベント、運動教室で子供から大人までを対象にスポーツ指導を行う活動をしています。

この度、海士町体育指導委員会は長年の活動実績が評価され、全国体育指導委員連合優良団体表彰を受賞しました。これも、住民の方々が日ごろから運動を積極的に行おうという意識を持ち続けていることがあればこそその結果だと感じています。

これからも、海士町のスポーツ発展と健康のために活動を行いますので、よろしくお願い致します。

### 旧第一慶照保育園 園舎改修完了

11月下旬に旧第一慶照保育園園舎（宇受賀）の改修が終わりました。本施設の改修にあたっては、第四次海士町総合振興計画の策定に携わっ

た『海士町の未来をつくる会』の有志が中心となり、改修箇所の検討や改修後に使うための家具をつくってきました。

12月5日には、試験運用として『海士町の未来をつくる会』の暮らしチームのメンバーが中心となり『笑顔の写真展』、チェスナツグループによる『手芸教室』、都会に住む若者との交流事業による『竹スプーンとフォークづくり教室』が開催され、約40人が参加し賑やかなイベントとなりました。

今後は、利用のルールづくりをしながら、町民の皆様の「趣味を活かして交流する場」として個人や活動団体、地元の方々に広く使っていた



手芸教室

だきたいと考えております。どなたでも利用が可能ですので、ご希望の方は、下記までご連絡ください。また、改修した園舎の愛称を募集していますのでふるってご応募下さい。

応募にあたっては、

- ① 愛称の案
- ② その理由
- ③ 考案した方のお名前
- ④ 電話番号

を左記までご連絡ください。

【連絡先】 地域共育課

電話：2・1221

FAX：2・1633



竹でスプーン・フォークづくり

# ふるさと講座

## シリーズ⑬

今号 8 頁に記載された崎の

「だんじり」は、平成元年、

当時の隠岐島前教育委員会により無形民俗文化財に指定され、平成9年、単独教委への移行により、引き続き海士町唯一の無形民俗文化財に指定されました。

無形民俗文化財は、伝統のある行事を次の世代の人々に継承していくことに価値があり、その意味からも今回の8年ぶりの復活は待ち望まれたものであり、まことに意義深いものがあります。

以下に掲載する記事は、「隠岐の文化財」第7号(松浦康磨氏執筆)から引用いたしました。

### 隠岐島前の指定文化財

#### 《無形民俗文化財》

#### 恵比須祭の風流(だんじり)

#### 指定事由

いわゆる「山車」の出る祭礼は関西地区には多いが、県下では珍しく、島後五箇村水若酢神社祭(山曳きという)同西郷

町御崎神社祭と二箇所あるのみで、形態は、御崎社の「宇屋だんじり」と同じであるが、島前では茲にのみ伝承されている。

#### 沿革並形態

#### 崎・エビス祭風流

#### 「だんじり」について

(一) 崎に祀られたエビス神

勧請の時代は詳らかにしないが、「増補隠州記」(貞享5年・1688)「両島神社書上帖」(宝暦7年・1757)「島前村々神名記」(元禄16年・1703)等に「西宮大明神 祭神 蛭子尊」とある処からすると、この時代には既に勧請されていた事が明らかである。又、明治2年の「神社取調帖」によると、前記の外に「恵比須社」があることが記されている(現存)。

又、崎には氏神である「三穂神社」があり、祭神は事代主命と美保津媛命である。以上いずれも俗にいう「エビス神」といわれる神である。

この様に海村であり漁業を主とした村であるのでエビス神信仰は崎の主たる信仰であった。ところでこれから記する「エビス祭」は「西宮社」の祭礼を称したものである。

#### (二) エビス祭

祭日は旧時は旧暦1月10日、現在は新暦の1月10日に行われ「十日エビス」といわれている。この1月10日は兵庫県西宮市に鎮座の「西宮神社」の祭礼日である。島前の各地で行われている「エビス祭」もすべて10日である処からすると元来西宮神社の信仰が早く入ったものと解される。

#### (三) 祭礼次第

前記の如く崎には「西宮社」があったので本来はこの社前に於て祭礼を行ったものと思われるが、現在西宮社は、氏神「三穂神社」に合祀されているが、祭礼は三穂神社で斎行されず、漁協の建物の中の広場に神輿を据えここにエビス神を勧請して祭儀を行っている。

その次第は、先ず神主による祭儀が斎行され、次いで神輿による神幸式が行われる。

神幸祭の列次は先祓・獅子・御幣(数対)・神供(5台)神輿・だんじり と列次を調べて、村を一周して最後は三穂神社の社前に到着していたのである。旧時は前記の如く

であったが、現在は神幸式は午前中に、だんじり練りは午後に行われる様になった。

#### (四) だんじり(山車)について

エビス祭に「だんじり」が列次の中に組入れられた初めは明らかでないが、伝えによると江戸期(文化・文政頃(1800~1829))に北前船の盛行した頃、崎の者で大阪で船団(ふなぐみ)をしていた際、西宮祭を見物にいつてだんじりを見て、是非、崎でもこれをやりたいという事になって始めたものといわれている。

その記録はないが、文久年間(1861~1863)宇受賀命神社の遷宮祭の時、崎のだんじりを繰出したと伝えられている処からすると、海士では有名になっていたものと思われる。

だんじりは山車(だし)と書かれる如く、もともと車のついた造りの物の山を曳くのが本来の型であるが、崎に移入した時、集落の地形から曳く事は不可能であるので神輿の如くかつぐ型に変えたといわれている。

だんじり練りは先ず初めに音頭によって木遣り風の唄に合わせて練り、一段落すると神輿をかつぐ時の掛声「チョウサイタ、チョウサイタ」によって暫く練り、又木遣音頭(伊勢音頭ともいうがすこし異なる)によって前進しながらこれを繰り返して行く。そして旧時は村を一周したというが、現在は漁協の祭場を出て氏神社の拝殿前に到着して終る。次いで、だんじりに飾り付けられている椎の小枝を手に取って、「ハライツチャ」を踊りながら昔は網元の家々を廻ったが現在は漁協まで帰ってすべてが終る。



# 島前高校魅力化プロジェクト

## 島前高校だより

### 島留学制度創設

島外から島前高校に入る意欲の高い生徒を対象に、寮費毎月1万2千円全額補助、食費毎月8千円、里帰り交通費の補助などを支給する島留学制度が海士町で新設されました。

今春に卒業する島前3町村の中学3年生の総数が、過去最低の41名で、緊急に島外からの生徒を確保しなければ、いずれ高校存続の危機を迎えます。また、昨年5月に中・高校生・保護者等に行ったアンケートの中で、島前高校の弱みとして、小・



中・高と人間関係が変わらないことが挙げられていました。このような背景をふまえ、島外からの意欲的な生徒の確保と、島内生徒が新しい人間関係に触れる機会の増加を目的とし、本制度を創設しました。

この島留学制度を島外にいる進学を控えたお孫さんやお知り合いの方にぜひ紹介してください。高校3年間をこの素晴らしい環境の中で過ごしてみたいいかがでしょうか。

なお、詳細につきましては、9月にリニューアルした島前高校HP（アドレス <http://dozened.jp/>）に掲載しておりますのでご覧ください。また、問い合わせは左記までお願いいたします。

海士町教育委員会(担当:宮岡健二)

住所: 島根県隠岐郡海士町大字海士

1490番地

TEL: 0851421221

FAX: 0851421633

Eメール

niyaoka-kenji@town.ama-shimane.jp

### 隠岐島前高等学校 魅力化推進協議会



島前高校魅力化構想の実現に向けて、必要事項を協議し、推進するための地域の組織として、「隠岐島前高等学校魅力化推進協議会」を立ち上げました。会員は、島前高校教員をはじめ、三町村の高校保護者、卒業生、地域の皆さんを中心に構成しています。

最初の協議会が10月30日に島前高校で開催されました。会の中で、魅力化の取り組みを説明後、感想・抱負等を求めると、「生徒が入りたい、いい高校にしたい。」「一人ひとり個性や生きる力が大切。地域創造コースには期待している。」「地域の

力を学校の力につなげていくことが重要。」などの意見が出され、皆さんの熱意がひしひしと伝わってきました。

その後、役員として座長には大野忠志さん（西ノ島町）、副座長に安藤晋治さん（知夫村）、浜見敏明さん（海士町）が選出されました。

そして、島前高校の魅力化を推進するにあたり、参考となる他の先進事例から学ぶため、12月13日～15日にかけて、岡山方面の高校視察に出かけました。

訪問した高校では、学校の特色を生かし、生徒確保のための様々な取組がなされていました。今後、高校と地域の連携を進めるにあたって、とても参考となる視察となりました。

（島前高校魅力化推進室 浜板）

